

# 労働組合との出会いを通じて —自治労委員長との対話—

公共サービスとは、労働組合とは、  
「働く」とは

全日本自治団体労働組合（自治労）  
中央執行委員長 川本 淳



## 公務員が労働組合の役員になる？



地方公務員や公共サービス職場で働く民間労働者のほとんどは、仕事以外の時間で労働組合の活動を行っています。



しかし、仕事をお休みして、一定期間、労働組合の活動だけをする人もあります。



さらに、公務員や会社を退職して、労働組合の活動に専念することもあります(私はここです)。

親の勧めで地元の役場（中川町役場）に入る←公務員になる！

- ・・・役場の仕事はまったく知らず。
- ・・・いずれは国鉄（※）に転職しようと考えていた。

（※）国鉄（国有鉄道）って知っていますか？

今のJRの前身。かつては鉄道事業は国有事業として国が運営していました。  
家の周りに鉄道が走り、小さなころから国鉄の仕事はとても身近だったので、  
自然と国鉄に就職したいと思っていたのです。

電車ではありません。  
汽車です（SLやディーゼルカー）



# 地方公務員としてのスタート

労働組合にかかわるようになったきっかけ

町役場に入った初日に「組合(★)」から声をかけられる

⇒ 何の抵抗もなく労働組合に加入

～「みんな入っているし、入るもんだろう」～

(★)私の出身組合は、「中川町職員労働組合」



「自治労」は、このような市町村や都道府県単位の組合が基本。  
これらの組合一つひとつが、県本部を通して「自治労」に加盟しています。

# 労働組合への参加から役員に

- 新入組合員を対象とした歓迎会やレクリエーション
- 地域の労働組合の同世代（自治労も、自治労以外も）が集まりキャンプやスポーツ交流
- 労働組合が行う職場や地域の学習会

職場や地域でさまざまな人と話し「気づき」や「刺激」を得る

「休暇はとれていますか？」  
「病気休暇は取れていますか？」  
「時間外に残業をしていませんか？」

「親が亡くなっていないので  
休みはとっていません」  
「風邪をひいたときに取りました」



労働組合を通して仲間ができ人脈が広がる

職場でおかしいと思ったこと・不安・悩みを話し、共有する組合の横のつながりが日々の仕事にも役立つ

# 労働組合への参加から役員に

➤ 地域でも大きな出来事がありました

1981年～1990年 国鉄民営化

国有事業であった国鉄が分割民営化され、JRが発足しました。  
国鉄の従業員全員が新会社に採用されることはなく、1,000人超の解雇者がでました。

国鉄がなくなると…

- 労働者が減ると、町全体の雇用が減少する  
…商店・学校の減少→町の衰退が加速
- 線路が廃止される  
…「町の足」をまもる＝線路を廃止させない



働く人が簡単に首を切られていくことの怖さを体感。  
公務でもあっさりと。

## ➤ 地域でも大きな出来事がありました

町に「幌延高レベル放射性廃棄物処理施設」誘致のはなしが

なぜ反対したのか？

- 当時、中川町一帯では酪農が盛んだったが、施設ができると「風評被害」が地域に影響し、基幹産業がダメになってしまう

労働組合も反対活動を展開→政治を動かす

- 反対活動は、当該地から道北、全道へと広がり、反対署名は町内有権者の79.7%を集める！
- 町議会も反対決議
- 当時の北海道知事も反対を表明

みんなが集まって声をあげ、活動することで、  
地域や社会、政治まで動かすことができる！  
労働組合の「可能性」を実感する



労働組合の立場から、  
公共サービスを、地域を、社会をよくしていきたい  
公共サービス労働者の働く環境をよりよいものとしたい

→公務員から労働組合の役員となりました。

# 地方自治体の仕事



これまでの講義を通じて、みなさんの日常生活が多くの「公共サービス」に支えられていることを感じていただけましたでしょうか。



# 地方自治体の仕事

---

日常生活だけではありません。  
新興感染症や、毎年のように起こる自然災害など、  
非常時においても、  
地域住民の生活を守るために、  
公共サービス労働者は現場の最前線で働いています。

これらの公共サービス一つひとつは、当たり前前に提供されるものではありません。

すべてのサービスは、それを担う「公共サービス労働者」によって、提供されているのです。

その公共サービス労働者を支えるのが、労働組合＝「自治労」です。

公共サービス労働者が、適切な労働環境で、充実した仕事ができなければ、よりよい公共サービスを提供することはできません。

**「公共サービス労働者を守る＝公共サービスを守ること」  
＝地域住民の生活を守ること」**

## 1. 組合員の生活をよりよくすること

### (1) 給料(賃金)

- ① 給料は公務員すべてが同じではありません。
- ② 地方公務員も自治体によって少しずつ違います。
- ③ 退職金もちょっぴり違います。

### (2) 働く環境

- ① 長時間労働が行われていませんか？
- ② お休みは適切ですか？きちんと取れていますか？  
(例えば、夏休みの日数も自治体によって違います。)
- ③ 職場に人は足りていますか？
- ④ 職場環境は適切ですか？(空調、照明、洋式トイレ・・・)
- ⑤ 健康被害やハラスメントに悩んでいませんか？



# 労働組合(自治労)の取り組み

## 2. 自治体や公共サービスを守ること

(1) 質の高い公共サービスを提供するために

自治体の財政事情を理由に、自治体の事業が民間業者に委託されることがあります。

しかし、安く引き受ける民間業者には、サービスの質や労働者への対応に問題があることもあります。

(2) 地域がそれぞれに合った柔軟な取り組みができるように

地域の実情に即したサービスが提供できるように、例えば、国から自治体への税金の配分や、税金のあり方など、国に対して申し入れを行います。

# 労働組合(自治労)の取り組み

## 2. 自治体や公共サービスを守ること

### (3) 災害・復興支援

「東日本大震災」や「熊本地震」、毎年のように頻発する災害時において、公共サービスの重要性が改めて明らかになりました。

自治体として被災自治体に職員を応援派遣したり、労働組合としても多くのボランティアが被災地に支援に入りました。



岩手県・宮古市で「思い出の品（位牌・アルバム・写真等）」の整理にあたる組合員



宮城県・南三陸町でご遺体を運搬する消防職員

# 労働組合(自治労)の取り組み

## 3. 国や自治体への働きかけ

(1) 個々の組合で解決できない課題

…職場の労働組合で解決できない大きな課題や  
共通の問題は、国や自治体に働きかけを行います。

●例えば①…新型コロナ対応などで現場が直面した課題の改善に  
むけ、関係省庁に申し入れを行います。

●例えば②…公共サービスに限らず、労働者全体にかかわる課題は、  
連合や、時には世界の労働組合とも協力して解決に取り  
組みます。





## 2. 労働組合(自治労)の取り組み

### 3. 国や自治体への働きかけ

(2) 労働組合としての政策の実現

…「こうなってほしい」という理想の社会の実現をめざします。

#### ●例えば①

…医療・介護・保育・社会的セーフティーネットの実現にむけ  
国や自治体に政策提言を行います。



#### ●例えば②

…アジアの子どもたちの教育環境の充実  
や権利の確立をめざし、  
N G O (エファジャパン：自治労が設立)  
と協力して支援を行っています。

日本の人口は1億2400万人あまり。そのうち就業者人口は約6700万人。

企業・団体に雇用されて働く人は約5700万人で、総人口の約46%も占めるのです。

公務員であろうと、民間企業で働こうと、フリーランスで働こうと、起業して労働者を雇用する立場になろうと、社会のあり方や将来を考える上で、

「『働く』視点」は絶対に欠かすことができません。

### 3. あなたが社会に出たら

もし、あなたが就職した会社にこんな問題があったらどうしますか？

ブラック企業だ  
残業代が支払われない  
セクハラ、パワハラ、マタハラ、モラハラ…  
有給休暇が取れない

- 選択①がまんする …これがずっと続くことに耐えられる？
- 選択②その会社を辞める…次の職場に問題がないとは限らない  
…条件を落とさずに何歳まで転職できる？
- 選択③現状を変える方法を考える  
…個人で？仲間が集まって？どうやって？

### 3. あなたが社会に出たら

『働く』 = 社会参画のはじまり

自分のことだけでなく、社会のことまで考え、行動できることが「社会人になること」。

この社会を、少しでも自分たちが思う／考える姿に変えていくためには、発信力がある人が発信するだけでなく、多くの人が「こう考えている」と伝えることが重要です。

その一つが**労働組合**ではないでしょうか？

そして、そこで、一人ひとりが行動するということが大切です。「何も変わらない」ではなく、変えていこうと思う気持ちと行動が、少しの変化を始めるものです。

ご清聴ありがとうございました